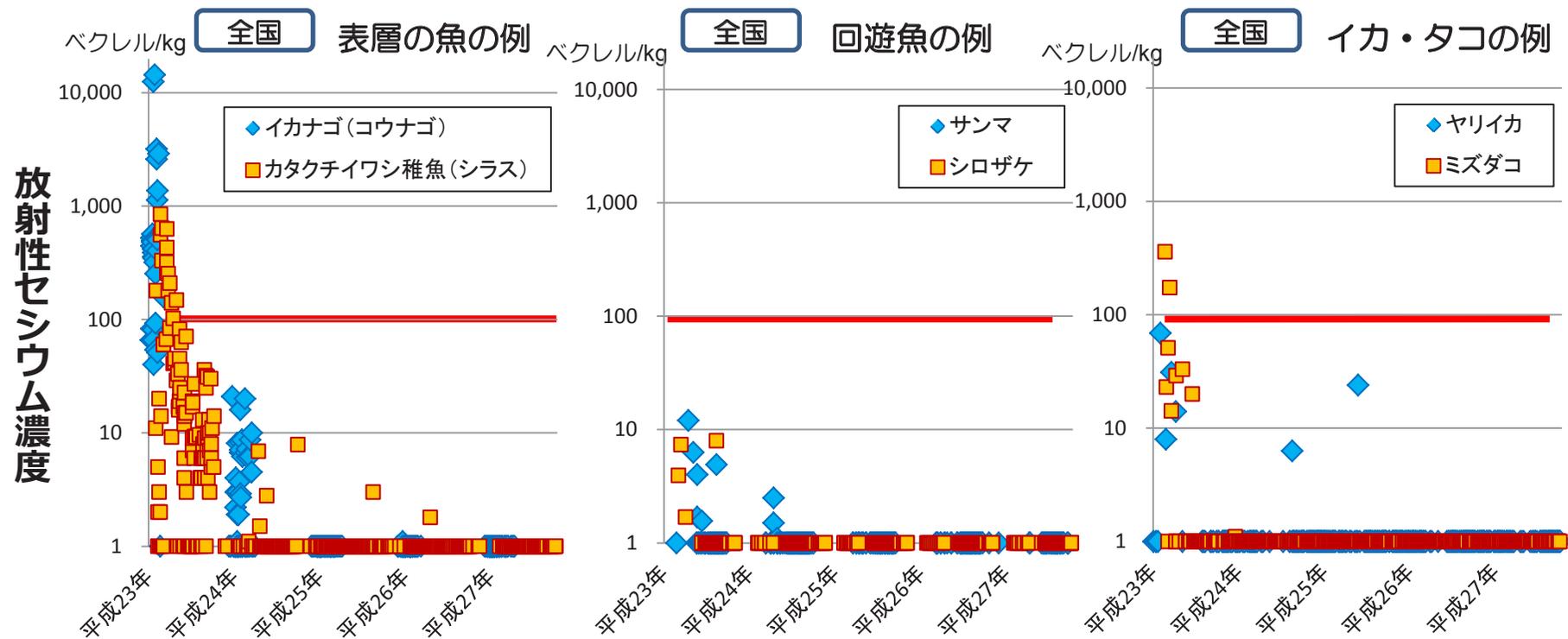


魚種別の放射性セシウム濃度の傾向 (1/2)

- シラス等の表層魚：時間の経過と共に基準値を下回る
- 回遊魚、イカ・タコ、エビ・カニ、海藻類：基準値を下回る
- カレイ等の底魚：現在でも基準値を上回る魚種が存在する
→ 生息域の環境や食性等が品目ごとの傾向に関係



(注) 平成23年3月24日～平成27年12月31日までの検査結果を水産庁にて集計。

農林水産省「農林水産現場における対応」より作成

農林水産省